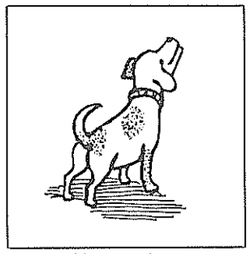

犬は鎖につないで かいましょう

▶不用犬は絶対に捨てないように。

市では次のように不用犬を買いあげています。必ず日時を守り、印鑑を持ってきてください。

日時・毎月第２月曜日、９時30分～10時（８月12日、９月９日、10月14日）

場所・市役所北側駐車場

▶狂犬病予防注射を必ず受けてください。

犬の登録は毎年４月に１回。狂犬病予防注射は４月と10月の年２回です。今年４月に注射をしなかった犬はすぐ獣医師につれていってください。

▶門には犬を飼っていることがすぐわかるように門標をつけてください。

公害環境課

夏休みを子供たちと迎えるために

夏休みは子どもたちにとって大きな楽しみですが、また、子どもたちの学力、体力など人間づくりに重要な機会でもあります。

長い夏休みを終えるとき、子ども自身が本当に有意義であったと思うような夏休みを過ごさせたいものですが、それには家庭のあたたかい指導が大切です。

そこで母親へのアドバイスに

▼夏休みは学校生活の延長ではないことをはっきりさせよう。

夏休みになると、世のお母さんの多くは、「宿題はだいじょうぶ？」「日記はちゃんと書いてる？」「テレビばかり見ないで、もっとちゃんと予習しないと成績がさがるよ」など、縮少した学校版を家庭に持ちこむ傾向がありますが、夏休みは長い休みであるところに意味があります。まずそこを確認して夏休みの過し方を考える必要があります。

望ましい夏休みの過し方

▼のんびりしたなかに規律ある生活を――。

最初の一週間は、プールで一生懸命泳ぐことと自由研究のテーマ探しを、次の一週間は、一学期にわからなかったことを調べてみるというようにして、いくつかの課題を器用にまとめるのではなく、「この夏休みにはこんなことをしました」と胸をはって答えることができるような生活設計をしましょう。

▼楽しい記憶の残る夏休みになるように――。

子どもたちに〝楽しい思い出は〟と問うてみると、お父さんとキャッチボールしたとか、犬小屋づくりなどの答えがはねかえってくることが多いものです。夏休みは、家族の一員であることを自覚させるのにまたとない期間ですし、両親の職業の苦労や尊さを理解させるのによいチャンスです。一泊旅行、家業の手伝い、夕食後の語らいなどを通して父母の労働観、職業観などを積極的に理解させましょう。

こうした〝汗のにおいの共有〟のなかで親子の関係を確かめあうのに夏休みは最良のチャンスです。

▼自然とのふれあいを――。

高知には、まだ戸外に緑の自然と周囲に歴史のたたずまいも豊かです。テストワークに力を入れるだけでなく、行動でなければ結果の出ない学習に力を入れてはいかがでしょう。

両親は学校の先生の下うけではなく、協力者という立場で、子供もさんの夏休みを楽しいものにしてあげてください。

交通事故やその他の事故にはくれぐれも注意し、見守ってあげてください。

工石山陣ヶ森県立自然公園

次のことが告示されました。内容をくわしくお知りになりたい人は、建設課都市計画係まで来ると自由にごらんになれます。

公園名＝工石山陣ヶ森県立自然公園、告示の内容＝指定告示、公園計画決定告示、特別地域指定告示

建設課　都市計画係

ゴミ　第二回目のゴミ袋無料配付

六月末より、七月、八月、九月分（二十五枚）のごみ袋無償配付を地区衛生委員が配付しています。南国市に住み、住民基本台帳に登録された世帯で一般廃棄物処理申請書の届をしている世帯はどなたでも受けられます。必要な世帯でまだ配付を受けてない世帯は、印鑑をもって地区衛生委員さんの所まで取りに行ってください。

むだのない、適正なごみ袋の使用をしましょう。

公害環境課

老人　旧老人医療費受給者証を返して

七十歳以上の老人の方には、すでに七月一日から有効の「老人医療費受給者証」をお渡ししました。六月までに使用していました「旧老人医療費受給者証」と使用していない「老人医療費請求書」は七月一日以降には使用できませんので、市民課給付係まで必ずお返しください。

なお、新しい老人医療費受給者は、旧証と番号や様式がちがっていますので、受けとったら必ず健康保険証と一諸に医療機関に見せてください。

給付係

農業　所有地と耕作地の申告

所有地および耕作地申告書を十アール以上耕作しておられる農家へ、連絡員を通じて配付をお願いしてあります。八月一日現在で記入して、八月十五日までに農業委員会事務局まで提出してください。

この申告は毎年お願いしていましたが、今後はこの申告書を異動整理のうえ使用します。農業委員会のおこなういろいろな証明は、この申告書によりおこないますので必ず提出してください。

農業委員会

写真「簡保の資金」写真コンクール

学校、公園、公営住宅、道路、市場、保育所（融資施設は郵便局でおたずねください）などを題材とした明るい作品。

▼サイズ・白黒は四切。カラーはスライド三十五ミリ以上。いずれも単写真。

▼受付・郵便局の保険窓口

▼受付期間・七月一日～九月十四日。

▼賞・カラーの部

推薦＝一点、三万円

特賞＝二点、二万円

入選＝五点、五千円

佳作＝二十点、賞品

白黒の部

推薦＝一点、二万円

特選＝二点、一万円

入選＝五点、五千円

佳作＝二十点、賞品

▼応募規則　(1)未発表作品に限る。

(2)応募数は五点以内

詳細は郵便局の保険窓口へ

夏の伝染病予防

赤　痢

赤痢は、県下で患者が一番多く発生した昭和37年度は、2,100人、死亡も70人におよびましたが、46年からは集団発生もみられず38人と減り、昨年は13人と戦後最低を記録し、夏場に９人、冬場に４人で昔のように赤痢の発生は夏場に限られていません。

これは外食の機会がふえたとか、冬でも室内の暖房がきくようになったとか、生活様式の変化が大きく影響していると思われます。症状を見ても、以前はひどい下痢がつづき、大便中に血やうみがまざり、高熱を伴う病気でしたが、１５年ほど前から赤痢菌の種類が変ったこともあり、症状も軽く、赤痢だと気づかない、いわゆる健康保菌者がふえています。

健康保菌者は、知らないうちに菌をばらまき、集団発生の原因となりますので、食品の取扱者、給食施設に働いている者は、特に定期的に検便を実施しなければなりません。

現在、患者数は激減していますが、いつ集団発生するか知れません。ひとりひとりが次のことに気をつけて、消化器伝染病を未然に防ぎましょう。

▶手を洗う

用便後、汚物の取り扱い後、食事の調理や食品の取り扱いを始める前、食事の前、外出から帰ったときなど、必ず手をきれいにせっけんで洗う習慣を身につける。

▶暴飲暴食をさけ、栄養と睡眠を充分にとる。

▶井戸水は汚染されている恐れもありますので、煮沸して飲用するように心がけてください。

▶体の調子が少しでもおかしいと思った時は、早く医師に見てもらいましょう。

日本脳炎

日本脳炎は猛毒の日本ウィルスをもった蚊が原因です。

症状としては、さむけ、はきけなどのあと、突然、39～40度の発熱があり発病します。

県下では、昭和31年に 114人と最高で、40人近くが死亡しており、42年ごろに40人のうち半数が死亡しています。45年からは10人以下になりましたが、死亡率は80％におよんでいます。

予防策としては

(1)４月から６月ごろまでに予防接種をうけ、自分の体は自分で守るようにしましょう。特に弱年令層、高年令層は毎年２回実施した方がよい。

(2)病気のなかだちをするコガタアカイエカの発生防止と駆除が大切ですが、蚊の撲滅は不可能に近いので、ゴミ捨て場、畜舎などへの薬物投与、寝室、居間などに金網の取り付け、蚊帳の使用などして蚊にさされないよう心がける。

(3)炎天下の無帽、日光に長時間さらされないよう十分気をつけましょう。

(4)過労をさけ、睡眠、栄養を十分とること。

この個人的な予防が、ひいては公衆衛生的予防につながりますので、病気を未然に防ぐようお互いに気をつけましょう。